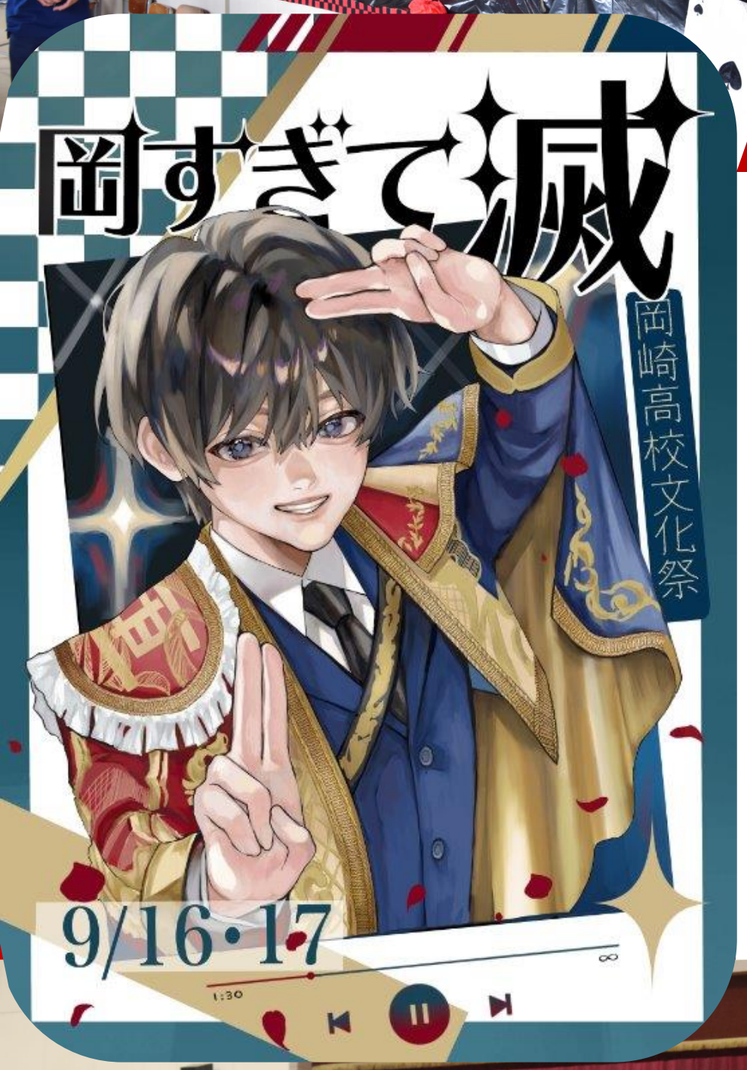






R8年度文化祭

テーマ「岡すぎて滅！」

岡高文化祭とは、日頃の勉強というリミッターを解除された岡高生が、日々封じ込められていた底知れぬ変人さ―独創性を爆発させ、2日間という刹那のうちに個々が際限なく輝き青春を謳歌する学祭である。今年のテーマは「岡すぎて滅」。岡高生は某アイドルの如く輝けただろうか。真実を知る方法はただ1つ、岡高に入学することだ。

（文責：令和8年度前期生徒会長）







開会式



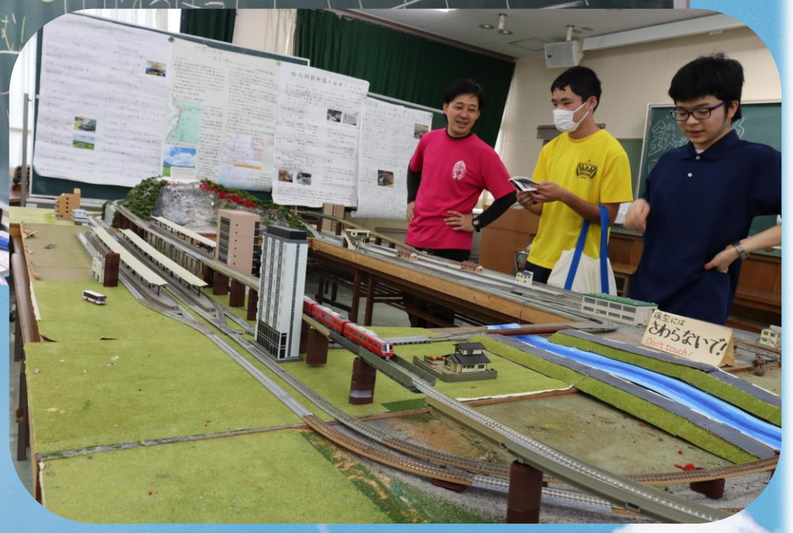


今年の開会式は、吹奏楽部とコーラス部による壮大なコラボレーションで幕を開け、校長先生による圧巻のサプライズ演奏、生徒渾身の催事CMで、観客のボルテージはもう我慢できねえとばかりに最高潮に達し、最高なんぞ単純な言葉では片付けられない岡高文化祭の開幕を全校生徒に知らしめた。最後に全員で叫んだ「滅！」の言葉は、この文化祭を象徴するものとなったことは間違いない。来年度の開会式も、岡高生の海馬をジャックするものになることを期待している。











催事



催事とは、何か。催事は文化祭の花形であり、岡高生の内に秘めた独創性を最大限に発揮できる場である。今年も校内は多くの型破りな催事で満たされた。クラス催事ではカジノやサバゲ―から、コーヒーカップ、格付けチェックなど、内容は多岐にわたった。部活動・委員会による催事も盛況で、家庭部のお菓子販売には多くの人が訪れ、STEAM部の催事では、さまざまな紙飛行機が飛び交っていた。

ステージ発表
有志発表



舞台発表の最大の魅力は、「気魄」だ。有志発表では、一人ひとりが自分の個性や特技を存分に発揮し、舞台上で輝いていた。部活動による発表では、日々の活動で培ってきた技術や努力の成果が披露され、その堂々たる姿は見る者を魅了した。そして、3年生による演劇では、クラス全員が一丸となり、ぎッとした真剣なまなざしで、それぞれの役割に取り組んでいた。その気魄たるや、舞台上の全員が渾然一体となり、そのすべてが輝いているようだった。そして、本番では、準備期間に積み重ねてきた努力の成果を、100%発揮してくれた。彼らのまわりが光っているように見えたのは、決してスポットライトの光のみではないだろう。









岡プロ

岡プロ(正式名称:岡高プロジェクト)とは、文化祭の2日間に展示する作品を制作するため、全校生徒が一つのお題に取り組む企画である。昨年度に引き続き、今年度も全校生徒でモザイクアートを制作した。今年度は3600羽の折り鶴を使って作り上げた。文化祭当日、体育館に飾られた岡プロを目にすると、いよいよ文化祭が始まるのだという胸の高鳴りを感じる。

しおり
ポスター

しおりとは、各団体の個性が爆発する文化祭の縮図である。しおりには、各団体が趣向を凝らして準備してきた企画や、生徒一人ひとりの創意工夫が表れている。今年度も多くのポスターが寄せられ、その一つひとつから、制作者の豊かな発想力と文化祭への情熱が伝わってきた。各団体の個性が随所に感じられる岡高ならではの文化祭となったのではないだろうか。文化祭を通して生まれた数々の工夫や情熱が来年度以降にも受け継がれ、さらに魅力ある文化祭へとつながっていくことを期待する。





令和８年度　岡崎高校文化祭　9/16,9/17

目次

目次 1
校長挨拶 2
生徒会長・文化企画常任委員長挨拶 3
岡高MAP 4-5
タイムテーブル 6-7
イベント一覧 8
1・2年HR催事 9-19
ステージ発表 20-27
部活動・委員会催事 28-35
ポスター紹介 36
メモ欄 38-39